



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿ノ台
メールマガジン

令和 6年 3月22日

第 25 号

6年生が卒業しました

3月19日、第45回卒業証書授与式が執り行われ、101名の卒業生が巣立っていきました。在校生代表の5年生と来賓が出席する形式は実に4年ぶりです。保護者、来賓、教職員が左右から見守る中、卒業生と在校生が対面し、式場中央に演壇を置き証書を授与する対面式の卒業式でした。最後の旅立ちの言葉と送る言葉、そして、それぞれの合唱の音が、体育館中に響き合いました。主役の6年生はもちろん、「後を引き継いで/力を合わせてがんばります」と呼びかけた5年生のがんばりで、とてもすばらしい卒業式にすることができました。これまで学校を引っ張ってきた6年生から5年生へ、次のバトンが引き継がれたように感じました。



6年奉仕作業

こうして卒業していった6年生ですが、3月15日(金)の5時間目と18日(月)の卒業式間際に、奉仕作業として校内の清掃活動をしてきていました。



いつものそうじではやり切れない所を少しでもきれいにしようと、かなり張り切ってやっていました。校舎東端にある非常階段。ここは、長年の汚れで真っ黒になっていました。水を汲んだバケツを階段へ持ってくる人と水を撒いて束子やブラシでゴソゴソこする人との連携プレイできれいにしていきました。そのほかにも、中庭の草引きをする人、ピロティ前の植え込み花壇の壁や観察池の藻を熊手で掬い取る人、ごみを手押し輪車でピストン

輸送する人、昇降口前廊下をメラニンスポンジと綿棒、そして雑巾を使ってとにかくピカピカに磨く人…とあちらこちらで頑張る姿が見られました。「校長先生、ここ見て！きれいになったよ」とどんな作業も楽しそう。皆さん、ありがとう。さみしいけれど、卒業おめでとう。本当によくやってくれました。

平和学習のまとめの展示

6年生が取り組んだ平和学習のまとめが、3月11日の週に多目的室で展示されていました。説明の図や表を見やすく入れて、かなりの情報量です。どの子も文字をていねいに書いて、真摯に取り組んでいたのが伝わります。下学年の児童には中身の濃く難しいテーマではありますが、こうした「まとめ」を見るだけでも、下級生たちのいい刺激になります。



モンゴルについて知ろう

2月28日にモンゴル出身の春蘭さんをお招きして、モンゴルの気候や風習、人々の暮らしについてお話して頂きました。2年生国語の教科書に載っているモンゴル民話「スーホの白い馬」の学習の一環です。日本にはない大平原の自然や気候、遊牧民の生活の様子は子どもたちにとって驚きの連続でした。



遊牧民にとってはエネルギーの原料にもなる大切な物として、灰色の塊を見せていただきました。草食動物のものなのでおいしませんが、正体を知って子どもたちは大興奮でした。最後に馬頭琴の演奏を聴かせていただきました。2年生の子どもたちは、馬に跨って草原を駆る疾走感ある曲調を、馬に跨るポーズを真似て体を上下に揺すってリズムをとりながら楽しんでいました。

友だちの国のことを知ろう

3月6日には、1年生が、シリアとアメリカ出身の保護者の方お二人に来ていただいてそれぞれの国の生活について教えてもらいました。

横書きなのに右から書いたり読んだりするシリアのアラビア文字については、子どもたちにとって不思議な感覚だったようです。声を上げて驚いていました。自然豊かなアメリカバーモント州から来られた方は、自宅近くを野生動物が訪れ、大雪の日にはしばらく外へは出られないことも。友だちにゆかりのある国がまた少し近くに感じた1時間でした。



見守りパトロールの方に感謝状



3月18日(月)、日頃、登下校の見守りをいただいているボランティア(地域安全推進委員会と青色防犯パトロール)の代表の方に、6年生が書いたメッセージカードを贈りました。朝八時前から、正門付近に多くの児童と保護者の方が集まって、六年児童から、代表の葛本さんと菅沼さんに手渡しました。

葛本さんは、15年前に個人で見守りを始められ、現在も地安推の一員として続けておられます。長年の取組に感謝を込めて、葛本さんには育友会から花束も贈りました。色紙やメッセージカード、花束は育友会でご準備いただきました。

いつもありがとうございます。登下校の見守り活動をこれからもどうぞよろしくお願いいたします。



今日は修了式

今日で3学期は最後です。令和5年度の修了式を行いました。修了式では、修了証を各学年の代表児童に手渡しました。校長からの話の最後に、来年度に向けて次の3つの宿題を出しました。

- ①始業式に元気に眼を輝かせて登校すること
- ②春休み中に「なりたい自分」を考えてみることに
- ③これまでお世話になった人たちに感謝の気持ちを伝えること

修了式のあと、離任式を行いました。一言ずつ挨拶をしてもらい、子どもたちから花束を渡しました。

今回、本校を退職または転出する先生は、次の通りです。

* ()内は本校在籍年数



スクールサポートスタッフの

先生(年)

さん、特別支援教育支援員の

先生、

先生、

先生も今年度でご退職されます。

学校評価

子どもたちのがんばりと、保護者の皆様のご理解とご協力、地域の方の支えにより、令和5年度もなんとか無事に終わりそうです。ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

今年度、「学ぶ意欲と豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもを育てる」という学校教育目標のもと、規範意識の向上、主体的・対話的で深い学びの推進を重点目標に掲げ取り組んできました。その本校の教育活動について、児童アンケート(7月、12月実施)、教員アンケート(7月、2月実施)、保護者アンケート(12月実施)を参考に、学校運営協議会(年間5回)の協議を経て、総括したものをまとめました。学校ホームページに掲載していますので一読いただければ幸いです。



学校評価総括へのリンク→<https://www.city.ikoma.lg.jp/cmsfiles/contents/0000022/22293/240320.pdf>